

しのだ昭が 宣言!

新潟市全域に、 市民すべてに届きます。

新バスシステム BRTの効果



ジャンプ

効果

BRT導入によりまちなかの
利便性アップ
↓
郊外路線
1日約**470便**増便
↓
区バス・住民バスの連携充実
**市全域の
公共交通が豊かに!**

余剰バスを
郊外へ

ステップ

施策

国と市で連携し
「新バスシステムBRT」に
ついて、新潟交通と運行
協定を締結

BRT
実施で

来年度から**5年間の
バス路線キープ!**

ホップ

実績

国と市、新潟交通とともに
オムニバスタウン事業を推進

低床バス ICカード 導入

バス支援の充実

バス利用者数
**40数年ぶりの
下げ止まり!**

Hop

Step

遠い
ところ

まちなかの利便性が充実することで
中心地に集中していた路線バスが拡がり
郊外路線がより充実に!

小さい
ところ

BRTは、すべての市民の皆さまに、効果をもたらします。

まちなかへの効果

BRTで中心部のバスが集約され運行がスムーズになり、連節バスなどで快適に移動でき、バス停の位置が明確になります。まちなかの活性化が図られます。

郊外への効果

1日約470便が増便され、利便度が大きく向上します。国・市の支援で乗換地点を整備し、負担は最小限で済み、減り続けてきた郊外バス路線が持続可能となります。

区バス・住民バスへの効果

新潟交通が営業バスの走行キロ数を確保。これを契機に区バス・住民バスとの連携を充実させます。来年度は一律助成の基準(収支率30%)を見直し、人口密度やバス空白エリアの解消効果などを加味し、**遠いところ** **小さいところ**の支援を強化します。

交通弱者の方への効果

超低床バスをこれまでより広いエリアに投入でき、お年寄りや障がい者が乗りやすいバス路線が増加します。今年度拡充した「シニア半わり」をさらに充実し、お年寄りの外出機会を増やし、健康寿命延伸にもつなげます。

子どもたち・若者への効果

シンボル性の高い連節バスが導入され、子どもや若者たちにバス利用にワクワク感をもってもらえ、高校生らには通学の利便性が向上します。

BRTは、すべての市民のための バスシステムです。

配布責任者 / 小泉孝夫 新潟市東区大形本町6-2-12

制作 / 株式会社 第一印刷所 新潟市中央区和合町2-4-18

※このチラシのプリントアウトはご遠慮ください。

どちらが無駄遣い？

新バスシステムBRT 実施

効果

- 利便性の向上
- 郊外路線の増便
- 市全域が活性化

コスト

BRTの導入コスト
約13億円(1期)
↓
年間コスト **6,500万円**
↓ (耐用年数20年割)
国の助成により市の支出額
年間 **3,250万円**程度

今年度、市が区バス・住民バスの運行と営業路線バスへの補助に3億円以上計上していることと比較すると、その事業効果は大きい。

生活しやすい環境づくり
効果的な支出

議会承認交通政策(BRT)の中止 従来方式で運行

結果

- 利便性は現状のまま
- 郊外路線ますます減少
- 交通難民の増加

コスト

BRT中止による連節バスの
契約破棄に対する損害賠償
最低3億円台の想定

新潟交通との運行協定破棄。
今後5年間のバス路線削減にともなう
営業路線バス継続支援、区バス・住民
バスの運行にかかる市の負担

5年間で **20億円程度**

変わらない現状
無駄な重い負担

全市民のために――

シンボル性の高いBRTが新潟駅前から運行されることで、新潟を初めて訪れた方も安心してバスに乗れるようになります。連節バスの存在は新潟の先進性を示し、新潟のイメージを向上させるでしょう。新バスシステムBRTは、まちなかにふさわしい質の高いサービスを提供するとともに郊外路線を維持・拡充し、将来にわたって全市民に持続可能な公共交通のネットワークの構築を実現する新潟市民すべての皆さまのためのシステムなのです。

地方の
未来づくり
新潟から

81万市民みんなで創る「安心政令市にいがた」
新潟の可能性を最大限に切り開く

しのだ 昭

しのだ 昭 のマニフェスト2014は
ホームページからも
ご覧になれます。

<http://www.shinoda-a.jp/>



※このチラシのプリントアウトはご遠慮ください。